

平成25年度宮崎県特別支援教育研究連合知的障がい教育研究部会  
～ 第1回理事会（総会）～

日時 平成25年6月13日（木）

13:00～16:00

会場 みなみのかぜ支援学校

1 開会行事

- (1) 会長あいさつ（みなみのかぜ支援学校 田中正利 校長）
  - ・来年度の全国大会に向けて、感謝の気持ちを持ちつつがんばっていきましょう。
- (2) 出席者自己紹介（名簿参照）
  - ・欠席者 延岡地区理事 瀬川 大輔 先生
  - ・代理者 西諸県地区 今川先生（外山千佳 先生代理）

2 県特連 知的部会について

- (1) 組織について
  - P 2～P 3 参照
  - この会の参加者が全国大会の実行員会も兼ねる。
  - 2. 組織の方針（4）理事会は決定機関という役割を明確化 → 「を明確化」を削除
- (2) 組織図について
  - P 4 参照
- (3) 知的部会規則について
  - 不明な点等ありましたら、事務局へ問い合わせを。

3 協議事項

- (1) 平成24年度知的部会事業報告
  - P 7～P 8 参照
- (2) 平成24年度知的部会収支報告
  - P 9 参照
  - 残金の一部（300,000円）は全国大会の準備金とする。更に全国大会終了後に残金の扱いについては、検討する。
- (3) 平成25年度知的部会事業計画（案）
  - P 10～P 11 参照
  - 事業計画決定
- (4) 平成25年度知的部会予算（案）
  - P 12

**質問**（西諸県）

・来年度の全国大会に向けて大会に出会予定はあるのか？参加旅費の補助は出せないのか？

**回答**（会長）

摘要のところで、「学校関係者以外の発表者旅費補助」となっているので出すことは難しい。補助はできないが、出会予定はあり。（出張で）

(5) 九特連・全特連大会の提案者等

P 13 参照

- 平成31年度についてはおそらく、都城きりしま支援学校小林校予定では？（都城きりしま支援）
- 今後、児湯るびなす支援学校がローテーションの中に入る予定（都城きりしま支援・領家T）
- 提案校の中に日向ひまわり支援が入っていないのは平成24年度に日向ひまわり支援が九特連の大会で発表を終えているからである。（延岡しろやま支援・山口T）

- 小中特研のローテーションについては理事会終了後、別紙にて連絡を受ける次回、提示予定
- 今後、空欄を埋めた形で事務局より提示していく。

(6) 研究大会担当校より

- 1 台風の際の対応  
大会前日 7月29日(月) 午前の段階で実施か否かを決定する。  
中止の場合はホームページにより情報を流す。
- 2 第2分科会 発表者の変更  
日之影小学校の橋本先生 → 日之影小学校 中村校長 と講師の先生に変更。  
(地区内での対応)
- 3 支援学校に関してはこれまで、人数制限をかけていたが、今回は募集時は制限を外した。  
400名を超えた段階で支援学校で調整の可能性はある。
- 4 大会実行委員会の出張文書を本日、持ってきているので、後ほど取りに来ていただきたい。

(7) 平成26年度 全特連宮崎大会について

- 主題と主旨については、中教審の報告書と第二次宮崎県教育振興基本計画を参考に文言等を引用して作成した。開催要項(案)は、東京本部事務局や都道府県代表理事の会議で提案し、了承を得ている。今後、国の動向等が変化した場合はそれを受けて変わっていく可能性はある。
- 分科会については、昨年度の実行委員会で協議し、決定した。但し、討議の柱については今後、変更があり得る。
- 県内の分科会提案者は、昨年度の段階でほぼ決定している。まだ、決定していない分科会については、今年度の10月末までに決定し事務局へ報告していただきたい。
- 全国各地の提案者は、5月17日の全特連理事評議員会で協議し、割り当てが決定した。
- 助言者は、6月21日の九州地区協議員会で提案し、協議する予定。助言者は、1つの分科会につき2名の設定である。1名は全特連本部推薦者、もう1名は九州各地区から選出する。宮崎県は、4名の割り当てである。県の特別支援教育室や県教育センターの指導主事、宮崎大学の先生方に依頼予定である。
- 県内からの分科会提案者に、みなみのかぜ支援学校の担当が入っていない理由は、全職員で大会の運営に携わり、他校、各地区から運営スタッフを多数選出する負担を避けるためである。さらに事前の打ち合わせや準備等を密に行うことができるという利点もある。  
ただし、みやざき中央支援学校で行う分科会については、運営スタッフはみやざき中央支援学校の職員で担当してもらおう。また、小中学校で行う分科会の運営スタッフは、主にみなみのかぜ支援学校が担当するが、駐車場係等、多少のお手伝いをお願いすることがあるかもしれない。
- 特別分科会については、他の分科会と時間や流れが違うので別紙で計画案を作成した。講義は、みやざき中央支援学校の足立先生と小野先生にさせていただくように、昨年度中に内諾を得ている。
- P6～P7の小・中学校、支援学校については、分科会会場校を依頼し了解を得ている。公開授業については、指導案の作成はない。純粹に宮崎の学校の子どもの様子を見ていただく。学校の実態に応じてオープンスクールのようにするか、特定のクラスを見ていただくかは、今後検討する。
- P8については、予約等が進んだ段階で情報を挿入する。
- P9の大会事務局内が昨年度と編成が変わっている。「小中特研関係者」の部分に関して、昨年度は、「小中特研事務局長」が入っていた。今年度から小中特研事務局が小戸小にかわったが、全特連宮崎大会関係については、昨年度に引き続き附属中の小野先生(昨年度の小中特研事務局長)が担当してくださる。
- P10の業務の振り分けについては、その業務をそれぞれの部で進めていくことになる。ただし、文書や計画の作成は事務局で行い、実行委員会内で担当の先生方に確認していただく形をとる。

- P 1 1 は、今年度の実行委員の名前が入っている。  
変更→日南くろしお支援学校「藤間亨」を「木村智洋」に変更
- P 1 2～P 1 4 は、平成 2 5 年度の年間事業計画である。P 1 2 の上部に今年度中に行わなければならない目標が記載されている。実行委員の先生方には、「実行委員会」と入っているところに出会していただく。
- 第 1 回実行委員会（7 月 2 9 日）に今日の資料を持参して欲しい。

**補足説明** （田中会長）

- ・ 5 月 1 7 日の全特連理事評議員会で提案し、ほぼ了解を得た。分科会 1 6 の「健康安全教育」については、「防災教育」のみで提案・協議を行うことになった。全国各地区への割当数について意見もできたが、提案通りでお願いをした。

**質問** （小中特研事務局 小戸小）

- ・ 分科会の会場を受けることを聞いているが、何を担当するのかを教えてください。

**回答** （全特連事務局・安田 T）

- 1 分科会の会場として、一部屋提供していただく。駐車場も提供していただく。
- 2 学校の授業公開をする。
- 3 提案をする方は決まっているので運営の手伝いをする。

**質問** （西諸県地区 野尻小）

- ・ 分科会について  
討議の柱については、今後変更があるとのことだったが、分科会名とテーマについてこの内容でいくのか？

**回答** （全特連事務局・安田 T）

基本的に変更しない。ただし、法律の改正等に関連する言葉の表現が変われば、それに準じて変更をする。

**質問** （宮崎地区 高岡中）

- ・ 宮崎地区からの提案者は、どのように報告されているのか。

**回答** （全特連事務局・安田 T）

「この方をお願いする予定である」ということで報告を受けている。正式に決定したら事務局へ報告していただきたい。

**補足説明**

- ・ 県内の提案者に関しては地区の状況によって決まっていないこともある。昨年度の段階で 1 0 月末までに決めていただくようお願いしてある。また、報告用の F A X 用紙をお渡ししてある。
- ・ 高校については県にお願いし、コーディネーターの先生方を中心に検討して選出す予定。
- ・ 県内からの提案者については、変更があるので第 1 回実行委員会で再度、提案する。
- ・ 今年度中に決定した提案者が、2 5 年度末に異動となった場合は、準備の関係上、新たに提案者を選出することはしない。そのまま、その方に提案していただく

**質問** （延岡しろやま支援学校）

- ・ 延岡しろやまでは研究発表だが、その場合も同様か？

**回答** （全特連事務局・安田 T）

延岡しろやまに支援学校については、柔軟な形で対応する。

**質問** （西諸県）

- ・ 昨年度の発表資料等があれば、見せていただきたい。

**回答** （全特連事務局・安田 T）

この会の後、昨年度と一昨年度の大会資料があるので必要な分のコピーをお渡しする。

質問 (西臼杵)

・分科会の割り当て時間は分かるのか？

回答 (全特連事務局・安田 T)

一人 最大 40 分の発表時間に 15 分程度の質疑応答の時間。  
提案後の協議の仕方については今後検討していく。発表の仕方は自由。

質問 (みやざき中央支援)

・中央支援が受ける分科会は最大いくつ？

回答 (全特連事務局・安田 T)

現在のところ支援学校が担当している分科会の 4～5 をお願いしたい。

質問 (延岡しろやま支援学校)

・全体発表はどのくらい？

回答 (全特連事務局・安田 T)

20～30 分程度

質問 (知的部会研究大会実行委員長 領家 T)

・次回は今回の資料以外も出るのか？

回答 (全特連事務局・安田 T)

出す予定。

質問

・分科会の提案者は、当日の発表以外に何か提出物があるのか。

回答 (全特連事務局・安田 T)

提案・発表の先生方には、大会当日に参加者へ配布する開催要項に掲載する A4 スペース 1 枚の資料を出していただく予定。詳細は 8 月までには作成して提案する予定。

質問 (みやざき中央支援学校)

・2 日目の運営については、ほぼみなみのかぜの職員なのか？

回答 (全特連事務局・安田 T)

みやざき中央支援学校で行う分科会の運営はみやざき中央支援の職員がしていただくよう、昨年度の校長とは確認済み。大会 2 日目、みやざき中央支援学校は授業公開をした後、10 時 30 分に全校生徒を下校させ、その後、職員は分科会の運営スタッフ、参加者として大会に参加する。

質問 初日のスタッフは？

回答 (全特連事務局・安田 T)

来年度の実行委員会のメンバーが中心となり運営を行う。但し、スタッフ数が足りないので各地区・各支援学校から実行委員以外に運営協力員として出していただく予定。

質問 (西都地区)

・西都地区の提案者は 2 名である。その場合、発表の時間は、増えるのか。

回答 (全特連事務局・安田 T)

提案者が 2 名であっても発表時間最大 40 分は変わらない。

#### 4 連絡事項

(1) 広報担当校より (ホームページについて)

○ 検索で「知的部会」で打つと入りやすい。(日向ひまわり支援学校)

(2) 負担金について

○ 小中特研と理事の先生に封筒をお渡ししてある。

入金方法については直接会計担当に手渡しするか、振り込みの2つの方法。尚、振り込み手数料については各学校負担。

その他

- ・知的部会ばかりが、規模の大きな大会を引き受けている感がある。(小中特研事務局)
  - あまりにも組織が複雑で分かりにくい。今後、整理していく必要がある。(会長)
  - ・今後、ブロックの大会がある場合は知的以外の支援学校が運営の中心となることがあるのか？(県研究大会実行委員長・領家T)
  - 組織の見直しは検討していく必要がある。全国大会終了後、検討していく。(田中会長)
- 知的部会 田中会長より
- ・全特連の理事会で新型出生前診断の導入に伴う話題が出た。
  - ・みやざき中央支援卒業の岩切さんがプラハ大会で自己新記録を更新し決勝に残った。
- 知的部会事務局長
- ・「第36回夏季セミナーへのお誘い」の案内がきている。必要な方は案内の冊子がある。

## 5 閉会行事

(1) 副会長あいさつ (きりしま支援学校 吉村 司 校長)

- ・知的が中心にならざるをえない状況ではある。みんなでいろいろな知恵を出し合っていければよいのでは。
- ・臨機応変に対応していくためには自分の職務と他の仕事を知らないといけない。みんなで、そのような事を押さえていく為の会。また、報告、連絡、相談をしっかりと行って全国大会を成功させていけるとよい。